「関空の改修に当事者の意見をどのように反映することができたのか」

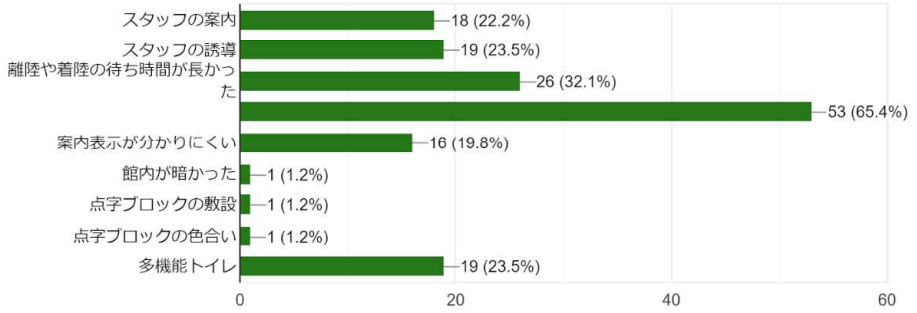
第23回バリアフリー推進勉強会in関西【配布用】

社会福祉法人 ぽぽんがぽん
六條友聡

- 2021年3月1日　関西空港
  関西空港 T１リノベーションバリアフリー検討
- 近畿分科会委員（障害者など団体９名）、
  委員以外３名（聴覚障害者団体、視覚障害者団体、精神障害者団体、知的障害者団体、手動車椅子、電動車椅子(LGBTQの方の委員24年1月)）
- 各委員からの意見とアンケート集計結果を
  合わせて 303件
- アンケート集計 81件

15．具体的にどこが改善してほしいところはどこでしょうか？（複数回答が可能です。）

81 件の回答



自分の車椅子で飛行機の中までいけなかった53件65.4%、離陸や着陸の待ち時間が長かった26件（32.1%）、スタフの誘導、多機能トイレ19件23.5%
自分の車椅子で飛行機の中までいけなかった60%を越えている。

【近畿分科会】 関西国際空港リノベBF検討会　　近畿運輸局

進め方

★ 検討会の進め方 （検討会は、コロナウィルス感染拡大防止のため、WEB会議と対面方式を併用）

① 関西エアポート(株)(KAP)より、実施設計を元に、リノベーション工事のバリアフリー対応説明

② 近畿分科会委員からの質問・要望をとりまとめ、検討会で意見出しを行う。

③ ②の意見等に対し、KAPから「実現可能」、「調整要」、「実現不可」に分類され、回答される。

④ 設計(案)に検討会の意見で実現可能なものを取り込み、工事した結果を近畿分科会が確認(検証)する。
（図面及び現地確認）

【対面】



【WEB】



会議の参画にあたって気をつけていたこと

- オンラインの方でも資料の確認
- オンラインでの会議で話し声が聞きづらくなる
- 文字通訳の確認
- 会議の雰囲気が良くなく発言しづらい
- 発言のため、手を挙手した時の確認

- 検討会　第１回～第６回
- 現地視察（工事前）
- モックアップ（トイレ）
- フォローアップ会議
  トイレ、サイン、エレベーター・エスカレーター、保安検査、カームダウンクールダウン、サイン、全般（聴覚）
- モックアップ（エレベーター）
- 現地視察（工事後）
- 検討会　第７回

※　5つのテーマに分けて、計11回実施。

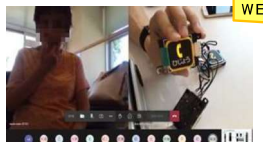
テーマ	実施日	出席者 障害種別	ディスカッションした内容
トイレ	7月 9日 7月26日	車いす 視覚	■ トイレの位置のわかりやすさ （マップ、触知図、トイレ内の明度、ダウンライトの位置、床と壁の色） ■ トイレの設置位置（空港内に均等に設置してほしい） ■ トイレの自動扉の開閉設定 ■ 水栓の形状（手をかざす、自動） ■ 個室内の備品関係 （汚物入れの位置、男性用トイレにも汚物入れ設置、ペーパーホルダー・呼び出しボタン、荷物掛けの位置、足元まで見える鏡の設置）
サイン	8月16日 9月 3日	車いす 視覚 知的 聴覚	■ サインの見え方（色盲や色弱への対応） （文字の大きさ、色、コントラスト、照明位置との兼ね合い、設置場所） ■ ピクトグラムのわかりやすさ、漢字が読めない方（外国人を含む）への対応 （ルビやひらがな表示） ■ 緊急時案内方法（音声と映像を併用して活用する、パトランプの設置） ■ デジタルサイネージの活用 ■ QRコードを利用した案内方法（アプリ活用）
エレベーターエスカレーター	7月19日 8月27日	車いす 視覚	■ エレベーターの仕様（最大定員、鏡の位置、操作ボタンの形状） ■ エスカレーターの仕様 （音声案内の音量、音声で案内する情報、入口前のポール、誤進入防止ブザー） ■ 固定橋への車いす搬入エレベーターの設置 ■ エレベーター緊急時対応用にQRコード利用

【近畿分科会】 関西国際空港リノベBF検討会・フォローアップ会　近畿運輸局

テーマ	実施日	出席者 障害種別	ディスカッションした内容
保安検査場	7月16日 8月20日	車いす 視覚	■ 搭乗者のボディチェック時、担当者の性別（異性対応）、声がけ方法について ■ 各場面（チェックイン・保安検査場・搭乗前）における航空会社・保安検査会社間での搭乗者の情報共有について
カームダウン クールダウン	7月12日 8月 6日	知的 精神車 いす	■ 設置してほしい場所（保安検査場より前？後？、搭乗口付近？） ■ ブースの仕様（個室タイプ？、照明、防音、壁の固さ、使用中表示） ■ 備品（リクライニングチェア、ソファ、ベッド、アイキャッチ、タイマー） ■ 非常時の案内方法 ■ ソフト面（スタッフからの声がけの必要性、タイマー音の種類）
全般 （サイン以外）	8月 2日	聴覚	■ フラッシュライトの設置個所（トイレ、授乳室など）の確認 ■ エレベーター緊急時対応（QRコード、文字情報など） ■ ソフト面（保安検査のご案内の仕方（筆談など）、スタッフの手話対応） ■ 衝突防止ミラー

WEB





対面参加の方の現地視察や会議室でのサンプルをWEB参加者にも確認できるように対応。



【近畿分科会】 関西国際空港リノベBF検討会・フォローアップ会

近畿運輸局

フォローアップ会（対面＆WEB）

対面





【カームダウン・クールダウン】
障害当事者の要望により、話をしやすい雰囲気作りを演出。
・カフェでおしゃべりするような感じ　・イメージしやすいように、模型で確認
・リラックス効果のあるアロマ（ローズマリー、ラベンダー）&おやつ。





【近畿分科会】 関西国際空港リノベBF検討会

近畿運輸局

リノベ工事で対応可能となったこと

一般トイレ	機能分散	近隣に授乳室がある場合は、ベビーシート設置取りやめ 車いす優先トイレを設置
	一般トイレに車いすで利用可能な個室の設置	奥行寸法を、1900～2000mmに広げる。 （新設トイレ22カ所のうち11カ所）
	車いす対応の洗面台設置	足元スペースの確保、洗面鏡高さ変更
	個室ブースの工夫	折れ戸の表裏の色を変えて、使用中か一目で分かるようにする。 フラッシュライトの設置
	トイレ入口に音声案内の設置	
多機能トイレ	レイアウト	男女共用できる位置に設置（異性介助者等への対応のため）
	緊急呼び出しボタン	便座に座っている状態、転倒時に対応できる位置に設置
	開閉スイッチ	押しやすい位置に変更
	荷物掛けフック	利用しやすい高さに変更
階段	2段手すりの設置	
カームダウン クールダウン	出国手続き後のエリアに4カ所設置（国内線保安検査場の前後2カ所など）	

今後のスケジュール…　2022年9月頃　現地視察
2022年9月～　第2フェーズへ。

【近畿分科会】 関西国際空港リノベBF検討会・フォローアップ会

近畿運輸局

トイレモックアップ検証会（令和3年4月20日実施）

【扉・開閉ボタン】
扉からの距離、高さは？



【折れ戸軌跡確認】



【配置検証】
ゴミ箱の位置、大きさは？
サニタリーボックスの位置は？
オストメイト、ベビーチェア等の位置は？
荷物フックの設置位置、高さは？





【移乗検証】
緊急ボタンの位置は？
ウォシュレット、洗浄ボタンの位置は？
トイレットペーパーの位置は？
手すりの位置は？





【多機能ベッド】
一人で持ち上げられる？
邪魔にならない位置は？

【洗面台】
奥行き、高さは？





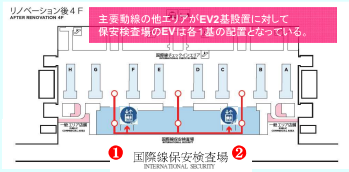
奥行きがないと、こうなる。

【近畿分科会】 関西国際空港リノベBF検討会・フォローアップ会

近畿運輸局

エレベーターフォローアップ（2022年3月31日実施）

【課題】：第1ターミナル4階保安検査場から3階出国審査場へのEVは、2台並列ではなくカゴサイズも小さい。
⇒既設施設改修の為、様々な制限があるが 改善できないか再検討。





原設計 15人乗 内寸 W1400mm× D1350mm、出入口幅800mm
→ カゴサイズ見直し 26人乗 内寸 W1500mm×D2500mm、出入口幅1200mm かつ 片袖（片開き戸）

⇒【モックアップ検証】 机上では車椅子2台の同乗は可能と想定していたが、本検証で4台同乗が可能と分かり
カゴのサイズの大型化・出入り口幅の拡幅、並びに片袖化にする効果は大きいことがわかった。









バリアフリー啓発教室

【趣旨】2025年大阪関西万博開催により多くの来関者が予想される。今般、大阪関西の玄関口の一つである関西国際空港を舞台に、 移動手段である公共交通のバリアフリーに焦点を置き、各事業者が「学び」「体験」を通じ業界の枠を超えて新たな気づきとする機会、更には障害者との相互理解を図る機会とし安心安全な共生社実現に向けたり組みの一環とする。

主　催：近畿運輸局、近畿地方整備局、大阪航空局、神戸運輸監理部

参加事業者 関空乗り入れ又は拠点を置く交通事業者（鉄道・タクシー・バス・船・航空各事業者）及び 施設設置管理者（関西エアポート）

協　力：移動等円滑化評価会議 近畿分科会 障害当事者を中心とした委員他

内　容：【第1弾】 9月9日（金）／13時30分～16時４0分／大阪合同庁舎内

会議室【学び】 〔事業者における参加対象⇒現業に精通されている方2名

- 国のバリアフリー施策/障害者差別解消法に関する講義
- ⇒対象：交通事業者、関西エアポート
- 施設設置管理者及び交通事業者による取り組み紹介
- 当事者による紹介(性的マイノリティ(LGBTQ)について、聴覚障害（聴導犬ユーザー))について
- 事業者ー障害当事者との意見）

バリアフリー啓発教室

【第2弾】11月25日（金）／11時30分～16時00分／関西空港 第1旅客ターミナル

（一部障害当事者には神戸空港桟橋より10時00分発ベイシャトル定期便に乗船していただき、関西空港桟橋に到着後、バスで第1ターミナルへ移動10時40分着）

⇒プログラム開始 11時30分～（昼休憩12時45分～13時45分）

【体験】〔事業者における参加対象⇒現業に精通されている方2名（内1名は管理職クラス)〕

- 公共交通バリアフリー乗降体験・・・鉄道、リフト付きリムジンバス、UDタクシー）
- 航空機搭乗2（船はプログラム開始前に体験しており対象外）
- 障害者等利用時を想定したロールプレイ

【到着/出発】・・・各交通事業者と障害当事者で実施

- 車椅子体験(介助体験含む)、視覚障害者疑似体験・・・関西エアポート、各交通事業

まとめ

- 完成してからの検証と評価
- 車椅子で飛行機の入り口までの希望が多いため、できるだけスムーズな利用
- バリアフリーはこれで終わりでなく、今後も続けていくことで積み上げていく
- 多様な方の参画